

乳酸菌とともに



株式会社ヤクルト本社

第59期中間期 株主通信

平成22年4月1日 ~ 平成22年9月30日

75 YEARS ANNIVERSARY!!



掲載内容

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 07 第2四半期連結財務諸表等
- 09 特集「誌上工場見学」～ヤクルト400のできるまで～
- 11 会社情報
- 13 コラム「世界 乳製品販売本数1日平均“30,000,000本”を突破」

TO OUR SHAREHOLDERS

ごあいさつ



株主の皆さまには、ますますご清祥のことと心からお喜び申し上げます。

ここに、平成22年4月1日から平成22年9月30日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

平成22年12月 代表取締役社長

堀 澄也

ヤ・ク・ル・ト・企・業・理・念

私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

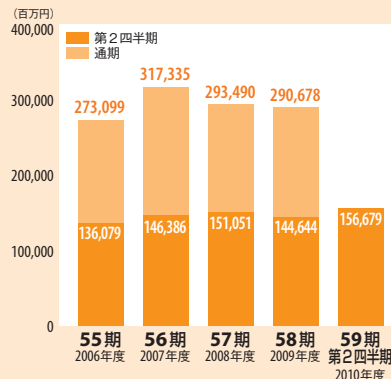
当第2四半期について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産が増加したことにより、企業収益は回復に向かい、個人消費にも持ち直しの動きが見られました。しかしながら、雇用情勢には引き続き厳しさが残り、為替・株価の変動やデフレの影響、海外経済の減速懸念などの不安要因も重なったことにより、依然として先行きの不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してまいりました。

連結業績ハイライト

● 売上高



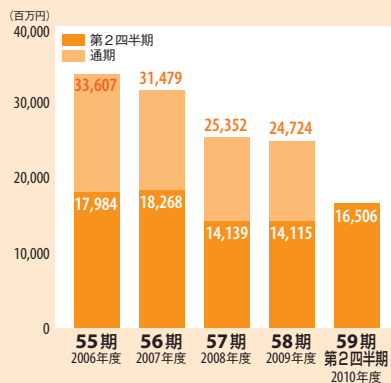
また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の整備に加え、海外事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上

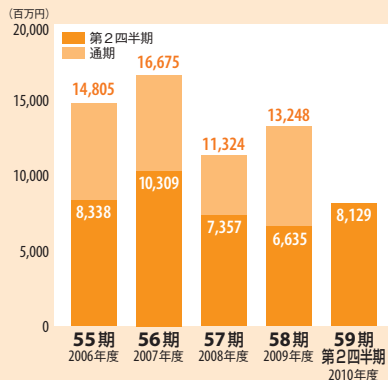
高は156,679百万円（前年同期比8.3%増）となりました。利益面においては、経常利益は16,506百万円（前年同期比16.9%増）、四半期純利益は8,129百万円（前年同期比22.5%増）となりました。

	当第2四半期累計期間	通期の見通し
売上高	156,679百万円（前年同期比8.3%増）	307,000百万円
経常利益	16,506百万円（前年同期比16.9%増）	26,500百万円
四半期(当期)純利益	8,129百万円（前年同期比22.5%増）	13,500百万円

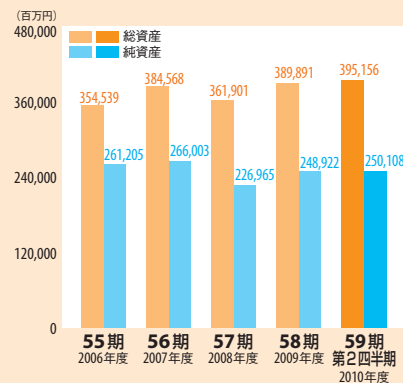
● 経常利益



● 四半期(当期)純利益

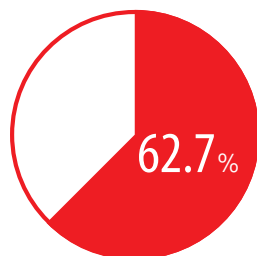


● 総資産／純資産



FINANCIAL RESULT BY SEGMENTS

飲料および食品製造販売事業部門(日本)

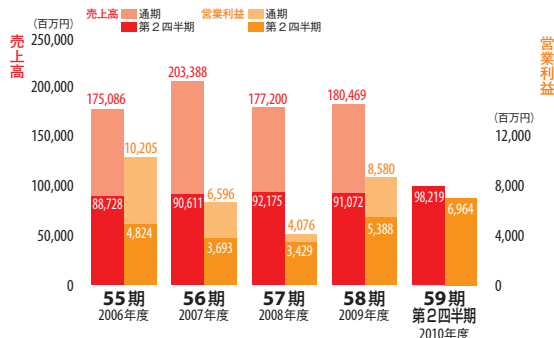


売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高
98,219 百万円
(前年同期比: 7.8% ▲)

営業利益
6,964 百万円
(前年同期比: 29.2% ▲)



日本国内における乳製品については、「乳酸菌 シロタ株」および当社独自のビフィズス菌「B. プレーベ・ヤクルト株」の「価値普及」活動を引き続き展開しました。

宅配チャンネルにおいては、主力商品である乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」「ヤクルト400LT」および飲むビフィズスヨーグルト「ミルミル」を中心に、飲用体感促進型普及活動による固定客づくりに取り組みました。店頭チャンネルにおいても、プロモーションスタッフを活用したお客さまへの「価

値普及」活動を展開しました。

一方、ジュース・清涼飲料については、6月末に健康機能性飲料の主力商品であるピネガードリンク「黒酢ドリンク」および「紫の美味しいお酢」をリニューアルし、売り上げの増大を図りました。また、日本最小の小型紙容器(65ml)入り健康機能性飲料「ぎゅっと健康」のシリーズ品として「ぎゅっと健康グルコサミン」を発売し、近年、市場が飛躍的に拡大しているグルコサミン市場におけるシェア獲得に努めました。

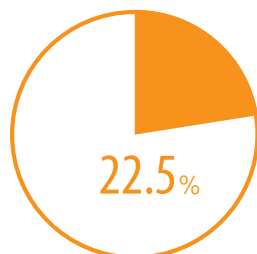
2010年
NEWS
&
TOPICS

「ミルミル」に続くビフィズス菌飲料 「ミルミルS」を新発売

「ミルミル」に、すっきりとしたヨーグルト風味の「ミルミルS」が新たに仲間入り。「ミルミル」同様、生きて大腸まで届く強いビフィズス菌「B. プレーベ・ヤクルト株」を1本に100億個以上含むほか、腸内のビフィズス菌を増殖させるガラクトオリゴ糖を1.0g/本、食物繊維を2.5g/本、さらに、コラーゲン、鉄、ビタミンE、ビタミンB6、ビタミンB12、葉酸など機能成分を加えた、健康を意識する大人のためのドリンクヨーグルト。10月4日より全国で好評発売中です。



飲料および食品製造販売事業部門(海外)

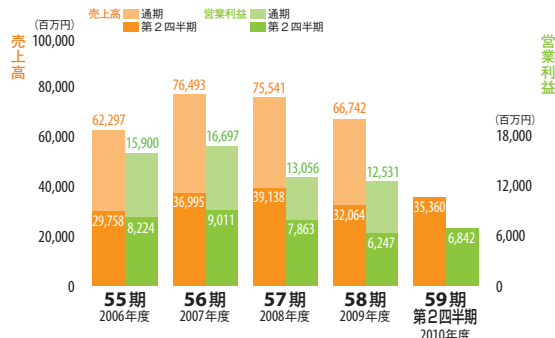


売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高
35,360 百万円
(前年同期比: 10.3% ▲)

営業利益
6,842 百万円
(前年同期比: 9.5% ▲)



米州地域

売上高**19,020**百万円 (前年同期比: 13.4% ▲)

米州地域においては、ブラジルおよびメキシコで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

米国においては、カリフォルニア州ファンテンバレー市に、米国で初となる「ヤクルト」を生産する工場を建設するための用地を確保し、平成24年の生産開始を目指します。

アジア・オセアニア地域

売上高**11,783**百万円 (前年同期比: 13.5% ▲)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

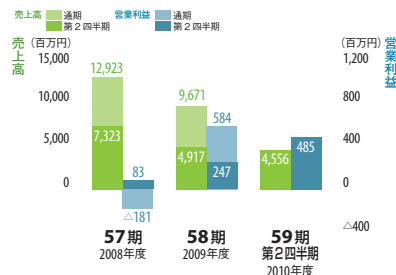
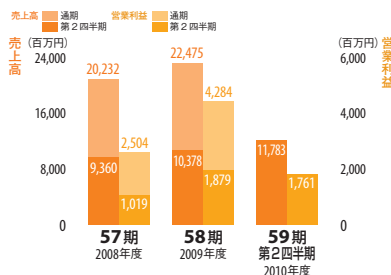
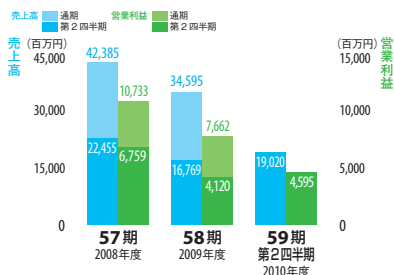
中国においては、広州、上海および北京を中心に、その他の主要都市へ販売地域を拡大しています。本年は、遼寧省および福建省に4支店（瀋陽支店、大連支店、福州支店および廈門支店）を開設しました。これにより、中国大陸沿海部の主要都市での販売体制が整うとともに、東北部での販売が可能となりました。

ヨーロッパ地域

売上高**4,556**百万円 (前年同期比: 7.3% ▼)

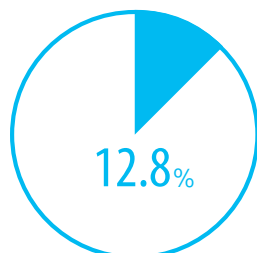
ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

イタリアの販売実績は堅調に推移していますが、ヨーロッパ地域全体で競合他社との競争が激化しています。



FINANCIAL RESULT BY SEGMENTS

医薬品製造販売事業部門

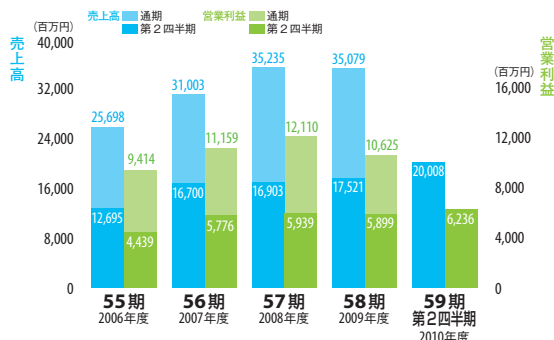


売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高
20,008 百万円
(前年同期比：14.2% ▲)

営業利益
6,236 百万円
(前年同期比：5.7% ▲)



医薬品については、国内において、がん化学療法剤「エルプラット」の適正使用をさらに推進するため、医療関係者を対象とした講演会や説明会などを積極的に開催しました。また、がん化学療法剤「カンプト」および活性型葉酸製剤「レボホリナートヤクルト」のシェア拡大に加え、遺伝子組み換えG-CSF製剤「ノイアップ」の販路拡大を図るなど、がん領域に特化した販売活動に力を注ぎました。

また、結腸がんにおける術後補助化学療法としての経口抗

悪性腫瘍剤カペシタピンとの併用療法に関する用法・用量追加の承認申請を行っています。

海外においては、「カンプト（米国など一部海外における商品名はカンプトサー）」について、原薬の供給価格を市場実態に柔軟に対応したものにすることによって、価格競争力を強化し、市場シェアの維持回復に努めました。また、プラスチック・バイアル製品の販売強化により、後発品との差別化を図りました。

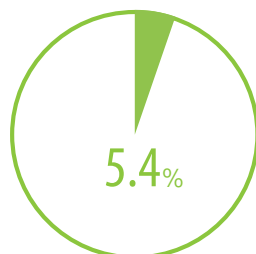
2010年
NEWS
&
TOPICS

すっきりした口当たりが魅力の「蕃爽麗茶 香ばし風味」を新発売

「蕃爽麗茶 香ばし風味」は、特定保健用食品としての許可表示はそのままに、初めての方にも飲みやすいよう、独特の渋みや苦みを抑え、ほうじ茶のように香ばしく、すっきりした風味に仕上げました。グアバ葉ポリフェノールの働きで、糖の吸収をおだやかにするので、食後の血糖値が気になる方に適しています。飲みやすい健康茶であることをパッケージでも表現するため、「蕃爽麗茶」のイメージに、清涼感や軽やかさを付与しました。10月1日より全国で好評発売中です。



その他事業部門

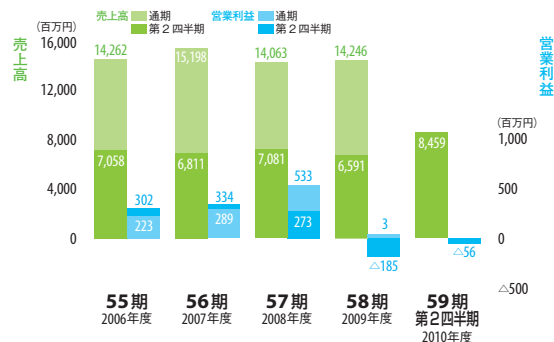


売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高
8,459 百万円
(前年同期比: 28.3% ▲)

営業利益
△ 56 百万円
(前年同期比: —)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品については、主カスキンケアブランドである「パラビオ」、「リベシィ」および「リベシィ ホホワイト」の各シリーズを中心としたカウンセリング型訪問販売活動を展開しました。9月には、化粧品事業の新しい取り組みとして、インターネット通販チャンネル専用の新ブランド「ikitel(イキテル)」

を発売しました。これにより、当社の「乳酸菌による美しい素肌づくり」を新たな顧客層に提案し、化粧品事業の業績拡大を図っています。

一方、プロ野球興行については、神宮球場において各種イベントを実施するとともに、積極的なファンサービスや情報発信などを行い、入場者数の増大に努めています。

リベシィシリーズ11品をモデルチェンジ「新保湿・リベシィシリーズ」を新発売

乳 乳酸菌由来のオリジナル保湿成分で健やかな素肌を持続させる基礎化粧品「リベシィシリーズ」全11品をモデルチェンジし、「新保湿・リベシィシリーズ」として11月1日から全国で新発売しました。乳酸菌由来の3つの保湿成分の配合量を増量したほか、お肌の悩みに多面的にアプローチするため、新たに「コラーゲン」「ローズフルーツエキス」「ビルベリー葉エキス」などの保湿成分を配合することで、年々高まる女性の美容意識に応えるシリーズとして理想的な美肌へと導きます。



CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

第2四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	第58期連結会計年度 平成22年3月31日現在	第59期第2四半期 平成22年9月30日現在
資産の部		
流動資産	181,716	188,460
固定資産	208,175	206,695
有形固定資産	130,391	131,503
無形固定資産	4,941	5,086
投資その他の資産	72,841	70,105
資産合計	389,891	395,156
負債の部		
流動負債	62,913	66,205
固定負債	78,055	78,842
負債合計	140,969	145,047
純資産の部		
株主資本	251,907	260,977
資本金	31,117	31,117
資本剰余金	41,229	41,203
利益剰余金	187,991	197,676
自己株式	△ 8,431	△ 9,020
評価・換算差額等	△ 28,040	△ 36,277
その他有価証券評価差額金	1,160	△ 536
為替換算調整勘定	△ 29,201	△ 35,741
少数株主持分	25,055	25,408
純資産合計	248,922	250,108
負債・純資産合計	389,891	395,156

第2四半期連結損益計算書

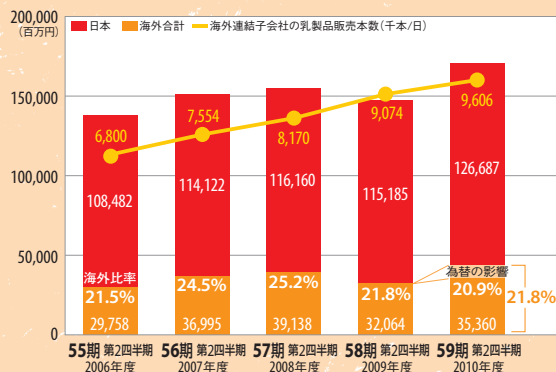
単位：百万円

科目	第58期第2四半期累計 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	第59期第2四半期累計 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	144,644	156,679
売上原価	66,149	70,781
売上総利益	78,494	85,898
販売費及び一般管理費	67,259	72,613
営業利益	11,235	13,285
営業外収益	3,900	3,959
受取利息	949	881
受取配当金	397	396
持分法による投資利益	1,334	1,679
その他	1,217	1,001
営業外費用	1,020	738
支払利息	410	417
為替差損	125	129
その他	484	191
経常利益	14,115	16,506
特別利益	72	323
固定資産売却益	38	89
その他	33	234
特別損失	2,869	3,102
固定資産売却損	26	291
固定資産除却損	270	198
投資有価証券評価損	205	1,399
工場再編損失引当金繰入額	175	85
減損損失	2,071	392
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	614
その他	120	120
税金等調整前四半期純利益	11,318	13,727
法人税等	3,342	4,099
少数株主損益調整前四半期純利益	—	9,628
少数株主利益	1,340	1,499
四半期純利益	6,635	8,129

第59期第2四半期のポイント

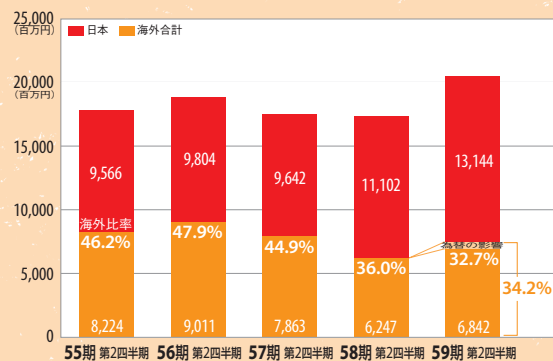
1. 6月に全世界で 3,000 万本達成
2. 増収増益
3. 売上高・営業利益は過去最高
4. 国内飲料を中心に実績好調

▶ 売上高推移 (連結)



(注) セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。

▶ 営業利益推移 (連結)



(注) 全社費用等の調整前金額で表示しています。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	第58期第2四半期累計	第59期第2四半期累計
	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	21,120	20,719
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,479	△12,833
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,567	△4,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,498	△3,732
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,571	△803
現金及び現金同等物の期首残高	62,665	83,190
連結範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増加額	—	856
現金及び現金同等物の四半期末残高	68,236	83,243

キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益13,727百万円に加え、仕入債務の増加およびたな卸資産の減少等があったことにより20,719百万円となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に生産設備の新設および増設による固定資産の取得があったこと等により△12,833百万円となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済および配当金の支払により△4,956百万円となりました。

▶ より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<http://ir.yakult.co.jp/>

ヤクルト IR情報

検索

毎日飲まれているヤクルト400は、
どうやってつくられるの？

誌上工場見学 ～ヤクルト400のできるまで～

ヤクルト400の製造工程は、大きく2つに分けられます。はじめに「原料液製造工程」でヤクルト400の原料液をつくります。つぎに「充てん・包装工程」で容器を製造し、内容液を容器につめて包装します。たしかな品質のヤクルト400を、皆様のもとへお届けするまでの工程を見てみましょう。

①原料液製造工程 ▶▶▶

STEP 1 溶解

「溶解タンク」で、粉乳(粉ミルク)をお湯で溶かして液状のミルク(仕込乳)にします。

START!



STEP 2 シードタンク

「シードタンク」では「乳酸菌 シロタ株(L.カゼイ YIT 9029)」を育てています。

STEP 3 培養

培養タンクで乳酸菌 シロタ株を増やします。殺菌した仕込乳に「乳酸菌 シロタ株」を接種・培養し、体温に近い温度にたもちながら「菌液」をつくります。



STEP 4 配合

菌液とシロップを混合し、ヤクルト400の原料液ができあがります。



原料液の完成です!

②充てん・包装工程 ▶▶▶

STEP 5 調合

容器につめる前にヤクルト400の原料液を殺菌した水と混ぜます。

STEP 6 成形・ラベル装着

「成形機」で容器をつくり、ラベルを装着します。



STEP 7 充てん・密栓

充てん機で、容器にヤクルト400の液を充てんし、アルミはくでできたキャップでしっかりシールします。





さらに詳しい内容は、
ホームページにて
ご紹介しております。

ヤクルト本社トップページ

▼
知る・楽しむ

▼
スペシャルコンテンツ
「ヤクルト400のできるまで」



STEP 9 出荷

冷蔵車に積み込まれ、各地へ出荷されます。



STEP 8 包装

できあがったヤクルト400
をパック包装します。



全国のヤクルトグループの
工場は、無料で見学できま
す。ぜひ、実際に工場見学
を体験してみてください。

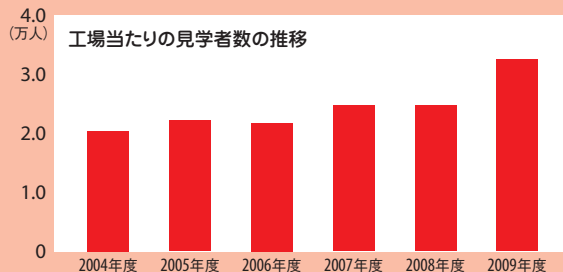
工場での取り組み

空容器を使って、
さまざまなものをつくっています。

工場が発生した商品には使えない容器を使って、定規や
カードスタンドなどのリサイクル品をつくっています。リサイ
クル品は、工場見学や環境イベントに来場された方々にお
持ち帰りいただいています。

工場見学者数が20万人を突破

ヤクルトの工場では、小さなお子様からご年配の方まで、多
くの方々にご見学いただいております。年々工場見学者数が増
加しています。2009年には工場見学者数が20万人を突破
しました。少人数でも大歓迎ですので、皆さまのご来場を
お待ちしております。



下記サイトより、
お近くのヤクルト工場をお探してください。

<http://www.yakult.co.jp/knowledge/factory/index.html>

ヤクルト 工場見学

検索

INFORMATION

世界に広がるヤクルト。

当社は、「プロバイオティクス」のリーディングカンパニーとして、日本を含む32の国と地域の人々の健康に貢献しています。現在では化粧品事業や医薬品事業にも取り組み、世界の人々の健康を幅広い分野でサポートしています。

「プロバイオティクス」とは：腸内細菌のバランスの改善によって人々の体に良い影響を与える活きた微生物。

▶ 世界に広がるヤクルト



ヨーロッパ

▶ 国と地域：10
▶ 1日当たりの販売本数：72万本

EUROPE

THE AMERICAS

米州

▶ 国と地域：7
▶ 1日当たりの販売本数：487万本

JAPAN

日本 ▶ 1日当たりの販売本数：908万本

ASIA AND OCEANIA

アジア・オセアニア

▶ 国と地域：14
▶ 1日当たりの販売本数：1,258万本

海外：2010年1月～6月の1日当たり平均本数
日本：2010年4月～9月の1日当たり平均本数

会社概要

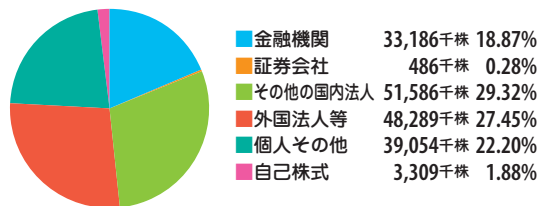
商号 株式会社ヤクルト本社
(YAKULT HONSHA CO.,LTD.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03(3574) 8960(大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 2,931人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者322人および嘱託117人を含んでいます。

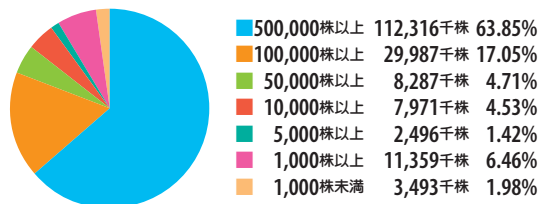
株式の状況

発行可能株式総数……………700,000,000株
発行済株式総数……………175,910,218株
株主数……………29,744名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員

代表取締役社長	堀 澄也	取締役	椎野 健一	取締役	池上 昭二
専務取締役	川端 美博	取締役	田中 良明	取締役	竹村 雅行
専務取締役	衣笠 剛	取締役	菊池 清隆	取締役	荒木 敏博
専務取締役	甲斐 千束	取締役	若林 宏	取締役	阿部 泰久
専務取締役	根岸 孝成	取締役	田中 正喜	常勤監査役	大坪 勝己
常務取締役	村田 泰文	取締役	石川 文保	常勤監査役	田中 竹義
常務取締役	根岸 正広	取締役	伊藤 正徳	監査役	中村 輝夫
常務取締役	阪本 重善	取締役	ジャックヴァンサン	監査役	奥平 哲彦
常務取締役	成田 裕	取締役	スヴェントマレン	監査役	角屋 良平
常務取締役	澤田 治司	取締役	安田 隆二	監査役	池田 雅彦
取締役	阿部 晃範	取締役	リチャードホール	監査役	谷川 清十郎

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
エムエルピーエフエス ノミニー・ダノン アジア ホールディングス プライベートリミテッド	35,212	20.02
松尚株式会社	11,530	6.55
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.82
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	4,144	2.36
共進会	4,012	2.28
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	2,743	1.56
麒麟ビバレッジ株式会社	2,458	1.40
日本生命保険相互会社	2,420	1.38
株式会社みずほ銀行	2,186	1.24

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会社を会員とする持株会社です。
上表のほか、当社は自己株式3,309千株を保有しています。

世界 乳製品販売本数 1日平均“30,000,000本”を突破

創業75周年にあたる今年、世界のヤクルトグループ従事者が一丸となり、世界の乳製品販売本数、1日平均3,000万本の突破を目指してきました。この結果、2010年6月度の1日平均販売本数が、国内で9,727千本、海外で20,495千本となり、世界の合計で30,222千本となり、創業以来初めて、世界の乳製品販売本数が1日平均（月間）で3,000万本を

突破しました。

ヤクルトは、創始者である代田稔が、「乳酸菌シロタ株」の強化培養に成功し、1935年に「ヤクルト」として福岡市で発売したことに始まります。

海外での販売は1964年の台湾を皮切りに、アジア・オセアニア、米州、ヨーロッパへと広がり、現在日本を含め、世界32の国と地域で愛飲されています。

（単位：万本/日）

4,000

世界 乳製品 1日平均販売本数の推移

3,000

2,000

1,000

0

1964年

1970年

1976年

1982年

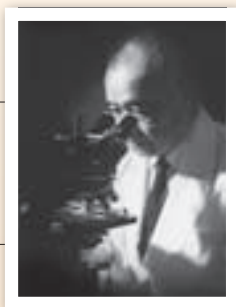
1988年

1994年

2000年

2006年

2010年
6月度



6月（月間）
3,022万本/日

予防医学

病気にかかってから治療するのではなく、病気にかからないための「予防医学」が重要である。

代田イズム

健腸長寿

人が栄養を摂る場所は腸である。腸を丈夫にすることが健康で長生きすることにつながる。

誰もが手に入れられる価格で

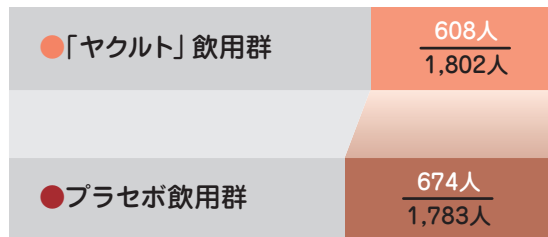
腸を守る「乳酸菌シロタ株」を1人でも多くの人々に、手軽に飲んでもらいたい。

TOPICS 01 小児急性下痢症に対する「ヤクルト」の予防効果を確認

世界における5歳未満の小児の死亡者数は年間約880万人といわれています。なかでもインドは年間約183万人と最も多くの死亡者を出しており、5歳未満の小児の死因の約13%は下痢症と報告されています。

このたび、インド国立コレラ・腸管感染症研究所と共

【下痢発症者数】



同で、下痢症の発症率の高い地域から3,585名の小児を対象に、ランダムに2群に分け、それぞれに「ヤクルト」またはプラセボ（※）飲料を1日1本(65ml)、12週間継続飲用させ、急性下痢症状の有無や糞便中の病原性微生物について調べました。その結果、下痢発症者数については、「ヤクルト」飲用群で1,802人中608人、プラセボ飲用群で1,783人中674人となり、「ヤクルト」の下痢発症抑制効果が認められました。また、下痢の発症率についても、「ヤクルト」飲用群の方が、プラセボ飲用群よりも低い結果となり、「ヤクルト」の継続飲用が消化器症状改善に有効であることが明らかになりました。今後も微生物の優れた力を人の健康に役立てる研究を積極的に推進していきます。

（※）プラセボとは、味や外見は同じで、有効成分を含まないものです。本物とプラセボの2つのグループを比べることによって、効果の程度を科学的に測定できます。

TOPICS 02 「乳酸菌飲料」国際規格入り

ジュネーブで7月上旬に開かれた食品基準を定める政府間組織「国際食品規格委員会（CAC）」総会において、日本で開発されて普及した「乳酸菌飲料」が、新たな食品の国際規格として採択されました。

乳酸菌飲料とは、当社の「ヤクルト」に代表される、牛乳などを発酵させたものを原料とした飲料です。これまで乳酸菌飲料は、清涼飲料などに区分されていましたが、新たに健康に役立つ「乳製品」の1分野に認定されたことで、国によっては消費税などが軽減される見通

しです。欧米案が採択されるケースが多い食品規格において、日本案が採択されたのは珍しく、1994年から交渉を重ねた結果、認定へとこぎ着けたものです。

食品の課税をCACに準じて決めている欧州では、乳製品を健康食品として優遇しているケースが多く、日本の乳酸菌飲料が「非アルコール飲料」に分類されるイタリアでは、日本の消費税に当たる「付加価値税」が現在の20%から10%以下に下がる見通しといわれています。

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、環境対策などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

株主優待

当社商品の提供

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま

- 当社「化粧品」「乾めん詰め合わせ」「ジュース詰め合わせ」のうちお好きな商品を進呈（※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります）。
※発送は7月下旬の予定です。

東京ヤクルトスワローズが神宮球場で主催するプロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 対戦するセ・リーグ5チームにつき2試合ずつ計10試合プラス交流試合2試合で計12試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

毎年9月30日現在で100～999株所有の株主の皆さま

- 年間2試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

※発送は3月中旬の予定です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
株主総会	定時株主総会	毎年6月中
	臨時株主総会	必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日

公告掲載方法 電子公告 <http://www.yakult.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
事務取扱場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階)
(郵便物送付先) 連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009

株式に関するお手続きについて 株券電子化にともない、現在の各種手続きのお申し出先は次のとおりとなっております。

1. 未支払配当金のお支払い

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社に
お申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など

お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き（証券会社に開設した口座への振替など）に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社に問い合わせください。

Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード2267

東京都港区東新橋1丁目1番19号

TEL:03-3574-8960(大代表)

<http://www.yakult.co.jp/>

